

# 森みながみたね 議会だより

第1回定例会及び第1回臨時会

【和太鼓講座】



【葦南小ヒカリノミ合唱】



第185号 発行 令和6年5月31日

■発行責任者：南種子町議会議長 塩釜 俊朗  
 ■編集：議会広報編集委員会  
 ■住所：南種子町中之上2793-1 電話26-0111

【長谷小学校エッセー】



【たねがしま民話講座】



令和6年第1回定例会が3月6日～19日まで、令和6年第1回臨時会が1月31日に開かれました。

## 主な内容

- 一般質問(5名).....2P～6P
- 委員長報告(予算委員会).....7P～8P
- 論 点.....9P
- (第1回定例会及び臨時会の議案及び補正予算審議から)
- 委員長報告(陳情審査)・ホームページ閲覧等.....10P
- 編集後記

【第40回南種子町生涯学習大会発表風景】

【役場企画広報係(令和6年2月25日撮影)】



一般質問



濱田 一徳 議員

# 南海トラフ地震を想定した防災対策について

**濱田** 能登半島地震を受け防災計画を見直す必要はないか。

**町長** 地域防災計画は、国及び県に倣い策定し、国や県の修正を踏まえ毎年見直ししている。

1月30日消防庁から航空機等の輸送に係る記載の見直し通知があった。国による各研究機関等の調査研究により、追って示される内容を踏まえ適時見直しを行いたい。

**濱田** 防災無線や携帯電話の不感地帯は把握できているか。

**町長** 天候等で聞こえづらい地域があることは把握している。

屋外拡声器は、津波の被害を受け易い沿岸部を中心に町内23カ所に設置している。不感地帯解消に拡声器の増設が最も有効と考えるが、親局の整備も含め更新を検討する時期に来ている。今後電波や音達状況の調査等を実施し不感地帯の解消を進めたい。

携帯電話については、町民から要望もあり、令和4年8月22日NTTドコモ本社を訪れ、翌日には総務省に要請も行った。NTTドコモの回答では、電波改善機器を設置することで改善する箇所もある

が、基地局等の設置は採算性の観点から困難とのことであった。補助事業で基地局設置もあるが、財源の関係や設置場所等今後調査検討していく必要がある。

**濱田** 再編交付金活用による防災対策を検討すべき、と思うが町長の考えは。

**町長** 令和6年度は、防災安全対策の面から消防ポンプ車、青色パトロール車の購入、町内小学校屋内運動場のLED化事業、中学校グラウンドのトイレやテニスコートのフェンス改修、保育園のトイレ洋式化、道路維持に関する車両、堆肥センターの車輛購入等計画している。

教育・福祉・交通・企業育成といった幅広い分野での活用を予定し、防衛省と協議しながら予算編成している。重要事項は一般財源でもやる方向で検討していきたい。

**濱田** 避難民の宿泊施設や、観光客用宿泊施設としてコンテナハウスの活用はできないか。

**町長** 一時的な避難所は町の指定避難所を想定している。

自宅被災の方々への対応は、仮設住宅の設備等国や県

への支援を要請し、住宅を確保していくことになるかと考えている。コンテナハウスをそのまま活用できれば、災害対策としてメリットはあると判断できるが、避難者への中期、長期居住として適当か判断できない。またコンテナハウスを維持・管理していくには、敷地・水道・電気・ガスの設置等予算を含め解決すべき問題が想定される。コンテナハウスの観光施設としての考えは持ち合わせていないが、民間で観光客の宿泊施設として活用することには妨げるつもりはない。

## 人材確保について

**濱田** 令和6年度の職員採用状況及び次年度の見込みは。

**町長** 4月2名の登録ができた。令和6年度に向け新たな取り組みを考えている。これまで職員の親族等が応募することがタブーとなっていたが、国や県では優秀な人材確保の観点から制限はされていない。

本町でもここは重要なことだと思っており、広く啓発していくべきであると考えている。

**濱田** 採用試験前に職場体験をさせることはどう考えるか。

**町長** 手法を確立させれば一つの方法であると思う。

**総務課長** 個人情報制限があり、単純作業で終わった実例もあり、今後検討課題の一つに入れている所である。

## 高齢化社会に備えた道路環境整備について

**濱田** 主要道路の歩道整備計画等を、進めるべきではないか。

**建設課長** 歩道整備されていない町道は、上中大川線、長谷平山線、花峯大曲線、大曲郡原線になると思う。

社会資本整備総合交付金事業を活用し、道路改良事業として計画することは可能と思われるが、現在補助事業で6地区を継続中で早急な対応は厳しい。今後の課題として調査研究したい。

大宇都暫久保線については、平成22年に地区公民館から陳情があり側溝蓋や防護柵設置を一部区間実施したが、有尾側が未整備の状況で、今後現地を調査し検討したい。

一般質問



福島 照男 議員

# ロケット産業・宇宙ビジネスとの関わりかた

**福島** この度、H3ロケットの打ち上げが見事成功しました。日本にとつても、本町にとつても大変嬉しいニュースです。また、アメリカ主導のアルテミス計画への参画も決まり、H3ロケットの宇宙輸送には益々期待が高まっているようです。

今後大きく伸びていくと予想されるロケット産業・宇宙ビジネスに、町としてどのような関わり携わって行く方針なのかお尋ねします。

**町長** さらなる協力体制を種子島全島及び県や各種団体とともに構築していくことが、大変重要になってくると思っています。宇宙ビジネスについては、種子島宇宙学校プロジェクト拠点施設整備事業を推進します。

打ち上げ支援体制についても、県の開発促進協、種子島宇宙開発促進協の支援体制の強化を図り、民間からいろいろなアプローチにも対応できるようにします。

## 観光客誘致対策

**福島** 先日の祝賀会の折

にも、令和6年度は、年5回の打ち上げ予定があるとの報告がありました。これを契機に島外から多くの観光客が見込まれますが、観光イベントや観光活動及び観光地整備に、更なる取り組みが必要と考えますが、どういう構想をお持ちか聞かせてください。

**町長** 以前から議会でも提案いただいている、西海地区の世界遺産を望むサンセット展望公園というものを、私も要望してきておりました。現在、県の補助事業が今までと形が変わってきました。単独での単発的なものでは、事業採択にならない方向に変わってきています。1市2町で広域的な連携整備を進めて行きたいと思っています。

観光客の誘致活動については、ロケットコンテストや宇宙芸術祭をこれからもしっかりとやって行かなければならぬイベントだと思っています。

芸術祭については、11月から12月にかけての期間を長く設定して、観光客が島外から来島時期を自由に選べるようになるのではないかと考えています。

## 特産品開発とふるさと納税

**福島** 町の活性化は、ロケット関連ビジネスと特産品開発にあると思っています。そういう意味で、特産品開発は非常に重要で大きな課題であります。

企画課のスタッフには大きな課題が多く、現状のスタッフのみでは対応に限界があるのかなと思っています。町長も人材不足で苦労しているということですが、ふるさと納税額が増えない。特産品開発が進まない原因がここにもあるのではないかと感じます。

総合農政課には優秀な職員がたくさんいます。合同で特産品開発チームを作って取り組むというのも、一つの方法かなと思います。町長の考えを聞かせてください。

**町長** 来年度については、寄付額を増やすために、新たにふるさと納税の募集サイトを増やす予定です。自治体独自の特設サイトの構築も考えていくつもりです。今後も企画課・総合農政課の関係各

## 介護報酬の改定から

課だけでなく、商工会・特産品協会などの連携を図り、新たな返礼品の開発も含めて進めていきます。

**福島** 国は、今回介護職員の待遇改善として、介護報酬の引き上げを発表しました。反対に訪問介護事業所については、全体の利益率が高かったとして基本料の引き下げを行いました。36割の地方は赤字だったとも発表しました。本町においては、訪問介護を受けておられる二百数十名の方々のサービスを維持することが最低限求められます。町としての取り組みを聞かせてください。

**町長** 国が定めたことについて、町単独での解決には非常に厳しいものがあります。状況としては、地方が一番苦しいと理解しています。県レベルや国会議員の先生方にもしっかりと声を上げていくべきだと思います。今後は議会も一緒に頑張って要望等、取り組みをいただければありがたいと思っています。



一  
般  
質  
問



上園 和信 議員

# 大きく進展する宇宙開発これを活かした宇宙の町づくり推進策について

**上園** 日本の新たな大型主力ロケット「H3」2号機、2024年2月15日午前9時22分過ぎに種子島宇宙センターから打ち上げられ、打ち上げは見事成功し、大型ロケット年間多数機打ち上げ時代に入った。さらなる支援と協力体制を構築することについてどう考えるか。

している。職員も確保しながら、早い段階でしっかりと体制を整える必要があると考えている。

**上園** 宇宙開発がもたらす本町への経済効果、計り知れないものがある。1回のロケット打ち上げがもたらす経済効果、いくらと試算するか。

**町長** 「H3」打ち上げ成功により、年間打ち上げ回数も増えてくることが予想される。本町だけによる協力体制ではなく、種子島全島、県を含めたさらなる支援と協力態勢の構築が必要になってくると考えている。

**企画課長** 2023年度にJAXAで調査されているように、「地域における宇宙事業に関する経済分析」によると、2021年度JAXAの事業発注額が全体で107億円、うち本町への発注額が47億円、それにより試算した射場施設の効果、いわゆる建設・更新の投資、維持管理、打ち上げ準備等に係る経済効果は約60億円と試算されている。雇用効果は184人、射場の消費効果、いわゆる宇宙関連の観光客、ビジネス等による宿泊、飲食、交通費等に係る経済波及効果は約10億円と試算している。

**上園** H3ロケット2号機の打ち上げ成功は本町が発展していく大きなチャンス到来と受け止める。さらなる支援・協力態勢を強めるため、「宇宙開発推進課」(仮称)、なる部署を設置する考えはないか。

**上園** 日本で唯一大型ロケット発射場を持つ南種子町、地の利を活かした「宇宙の町」「宇宙に一番近い町」「ロケットの町」という呼ばれ方をしているが、正式な都市宣言はしているか。

**町長** 将来を見据えた新体制については、今後対策を取らなければいけないと検討

**町長** 町が都市宣言するためにどのようなことが必要不可欠か、精査するよう指示を出したところである。問題解決を図り、早い段階で宇宙宣言できるよう取り組む。

## ご当地ソングの永久保存と愛唱対策について

**上園** 正式に都市宣言する考えはないか。

**企画課長** 現在のところ都市宣言はしていない。

**上園** 「南種子町町民歌」「南種子音頭」「ロケット音頭」が製作されてから永い年月が経っている。この3曲を1つのメディアに収録し、永久保存して次の世代にも歌い継いでいく。見解を。

保存している。

**上園** 「南種子町町民歌」「南種子音頭」「ロケット音頭」が製作されてから永い年月が経っている。この3曲を1つのメディアに収録し、永久保存して次の世代にも歌い継いでいく。見解を。

**町長** 著作権法上の関係もあり、慎重に行う必要がある。収録して活用することができるかどうか、今後調査・研究する。

**上園** 「南種子町町民歌」はコーラスグループのコール「さんだんか」に、「南種子音頭」と「ロケット音頭」は、町内にはプロ並みの歌唱力をもった町民がたくさんいらっしゃいますので、その方たちを歌い手として起用する。最高なCD録音が完成するものと思う。どう受け止めるか。

**町長** 著作権法上の関係があるので、しっかりと調査・研究をしなければならないと思っている。

**町長** CD及びUSBで

一般質問

本町の観光・施設整備について



柳田 博 議員

柳田 本町を長谷十文字

から門倉岬を縦に線引きし、東西を見たとき、西海岸にも名所や史跡が多く点在しているが、これらを観光地として有効に扱った施設はありませぬ。これまでも幾度か質問を繰り返してきた。また、島間岬から屋久島・東シナ海を眺望する展望地として整備してほしい旨の強い要請であるが。

町長 鹿児島県の魅力ある観光地づくり事業を導入し、世界遺産を望むサンセット展望公園整備事業として、

西海地区にトイレ等の休憩施設を造る計画もありましたが、広域的な整備計画が必要と見直しがあり、今年度に入り中種子町と広域的な枠組みで施設整備を進めている。また、島間岬に関しては、魅力ある観光地づくり事業に組み込めるかなど、調査研究していく。

公立種子島病院について

柳田 鹿児島県は医療法の規定に基づき、「鹿児島県保健医療計画」の一部として医師確保の方針、確保すべき目標医師数及び目標の達成に向けた一連の方策を定めた「鹿児島県医師確保計画」を今年度中に策定するため、

昨年12月から今年の1月にかけて、素案に対するパブリックコメント(意見公募)を実施したようです。私ども、公立種子島病院も慢性的な医師不足が続いており、管理者を始め関係者の皆様には、医師確保を始めスタッフの安定確保のために日々精一杯のご尽力をいただいております。県も今年度を始めとして、策定する訳ですので、北に種子島医療センター、南は公立種子島病院と種子島地域医療を守っている病院です。県立病院のみならず、医師の確保や財政面

の支援もいただきたいのですが。

町長 鹿児島県は令和6年度を初年度とする第2期の「鹿児島県医師確保計画」令和6年から9年度を策定中であり、熊毛も二次医療圏域は、医師少数区域で目標医師数57名に対し47名で、10数名医師確保しなければならぬ数となっている。県は、5つの県立病院に対し、一般会計より52億円強の繰出しをしている。当然のことながら、我々の熊毛地域には、殆ど恩恵はない。現状として、大阪市立池田病院、北海道大学病院、鹿児島市立病院より医師や研修医の派遣をいただいております。4月からは、常勤医師が2名体制になることが決定しています。

外国人労働者の受入れについて

柳田 少子高齢化が急速

に進み、限界集落が急速な広まりが見える。本町で、労働者の不足・減少は、計り知れない。これから先の農業を含めた地域産業の労働者や担い手づくりを、一人でも多くの外国人労働者を含めた優秀な人材を招聘し、永住により地域産業や地域文化の維持传承を計る体制づくりが急務と思うが。

町長 外国人労働者の受入れについては、町が積極的に推進しても企業側がやらなければならぬことも多く、受入れを行う意欲が一番重要であります。行政と連携が図られるような関係をしっかりと構築することが重要と思っております。人口減少と申しますと、年間120人強減少してきておりましたが、令和3・4年までを見ると60人から70人程度までに減少を抑制している。15歳以下の人口は、2・3年微増の状態であり、様々な施策の結果だと考える。

一般質問



名越 多喜子 議員

# 屋根付きバス停の設置を

**名越** 観光客のバス利用者が、雨風時のバス利用に当たり、非常に困難である。全天候型の屋根付きバス停の設置を懇願しているとのこと、行政として積極的に観光客の誘致を、推進している以上、何らかの対策を取る必要があるのではないかと思います。町長はどのように考えますか。

**町長** 宿泊施設などから町へ直接の要望については聞いていないところですが、バス停の個所数も多数ですので、全部というわけにはいきませんが、どこが一番必要で、どんな問題があるのか、しっかりと調査していくことが、まず我々がやらなければいけないことかと思っております。

**名越** 市街地のバス停の1カ所からでも、行政や福祉協議会やバス会社等一緒にになり、補助金等も考えながら前向きに考えてほしい。

**町長** コミュニティバス停78カ所、市街地のバス停12カ所あり、台風の事など、箇所等も考え、調査研究をしております。

## あば！Payの推進について

**名越** 直近までの利用状況と、ガソリン販売業者の利用状況は。

**企画課長** 2月29日現在、カード発行数5,461枚で、死亡や転出で91枚返却で、現在利用可能カード数5,370枚であり、一度でも利用したカード枚数が4,718枚であり、利用率87.86%である。利用金額として、電子マネーで3,705万8,000円がチャージされ、そのうち3,238万9,286円が利用した金額である。期間限定の5,000円、3,000円と臨時交付金4,018万4,157円の利用額と

なっている。油脂類販売業者数5業者のうち、4業者があば！Pay登録業者で2月末現在、763万円で、うち1店舗がチャージ可能であり、全体の利用額は、期間限定等も併せて7,504万円です。

**名越** 利用額の2割の手数料支払いについて、内訳はどのようになっていますか。

**企画課長** 店舗手数料2割の内1割が、利用者がチャージした場合に付与され、残りの1割の内0.5割はあば！Payのシステム会社へ手数料として支払い、残りの0.5割は事務費として役場で現金受け入れをして、振込手数料等に活用している。通常クレジット会社では、手数料として、3割から3.5割支払われているようです。

**名越** 公立種子島病院のあばチャージ機設置についてどのように考えていますか。

**企画課長** チャージ機設置について、病院事務所と事務レベルで協議をしたようですが、病院の診察代をあば！Payで支払うようにすることは、ハードルが高いということで、報告を受けております。今後どのような事がハードルとして引つかかっているか、十分に意見を聞きながら、出来るかどうか調査研究していきたいと思っております。

**名越** Aコープのチャージ機設置について伺います。

**町長** Aコープについては、設置場所や金銭管理などの理由から設置してもらえておりません。今のところ要望に対して、前向きな回答をいただいておりますので、再度J Aを通してお願いをしてまいりたいと思っております。



# 委員長報告・予算委員会

(総務文教委員会)

委員長 大崎 照男  
副委員長 平島 強

委員 塩釜 俊朗  
委員 上園 和信  
委員 柳田 博

総務文教委員会に分割付託された、令和6年度南種子町一般会計予算の審査の経過と結果について報告いたします。

全委員出席のもと、第1委員会室において、審査日程を3月7日(木)と8日(金)の2日間と決定し、関係課長、係長に出席を求め、審査を行いました。

化することです。

## 議会監査委員会

議長と同じく住民に対して直接責任を負うもの、研修会、調査等を通じ、資質を高め、議会の活性化、効率的な運営に努める。監査委員室は常に公正、不偏の態度を保持し、守秘義務を課し当たらなければなりません。

質疑 なし。

## 会計課

関係法令等を遵守し、日々の事務を正確に行い、指定金融機関と連携し業務を執行し、各種基金の運用については、金融情勢等にに応じて安全かつ効率的な運用に努めていく。

質疑 なし。

## 給食センター

バランスの取れた食事を提供し、適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図る。

質疑 運営委員会で給食費一部個人負担について意見はなかったか。

答弁 端末(PC)を二元

答弁 意見はないです。

## 管理課

「あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり」を基本目標に、教育振興基本計画に基づき、人間性豊かで、活力ある教育の推進を図る。

質疑 バリアフリー化事業の内容と場所は。

答弁 6年度は、中平小学校正門、校舎、段差解消体育館の階段等の補修工事を実施予定です。

質疑 学校トイレの水洗化は。

答弁 100割です。

質疑 浄化槽の管理委託料は。

答弁 中学校65万9千円、小学校116万7千円、合計で182万6千円です。

質疑 固定資産の交付金、対象となる県の施設は。

答弁 県営住宅のコスモタウン、漁協関係の土地、国有

林関係となります。

## 社会教育課

社会の変化に的確かつ柔軟に対応するための模索を進め、生涯学習の推進に取り組む。

質疑 地区公民館運営補助金は新規事業か。

答弁 新規事業です。

## 選挙管理委員会

目指すべき方策とし、公職選挙法、地方自治法に定める事項の公正適正な事務執行、明るい選挙を展開し、各選挙の投票率アップを図ること。

質疑 投票所のバリアフリー対策はできているか。

答弁 段差解消の簡易な設置をしている。寝たきりで行けない人の投票対策は、施設で、公立病院、芙蓉苑の2カ所です。

る。

質疑 職員採用募集、確保は。

答弁 令和5年度は数回採用試験をし、令和6年度、鹿児島市内で試験を予定、県内全域の高校への募集を行いたいです。

質疑 町消防団の団員数は満たされているのか。

答弁 定数は153名、現員は141名です。

質疑 マイナンバーカードの交付枚数と交付率は。

答弁 交付枚数は4,678枚。交付率は87.2割です。

以上で質疑を終わり、討論なく採決の結果、全会一致で原案の通り可決しました。

## 執行当局への申し入れ

1 予算については、時期を逸せないよう適正な執行に努めること。

2 職員の採用については、年齢の繰り上げなどの方策を講じて、適正な人員確保に努めること。

# 委員長報告・予算委員会

(産業厚生委員会)

委員長 福島 照男  
副委員長 野首 久教

委員 川内田 行博  
委員 名越 多喜子  
委員 濱田 一徳

産業厚生委員会に分割付託された、令和6年度一般会計と3特別会計及び水道事業会計の予算審査の経過と結果について報告します。

審査日程を3月7日と8日の2日間とし、全委員出席のもと、関係課長等に出席を求め、予算方針及び内容等について説明を受け、質疑応答にて審査を行いました。

**建設課** 第6次長期振興計画を基本とし、投資効果や事業内容等を検討し、住民からの要望等を踏まえ、公共性及び緊急性を要する建設を重点事項として取り組みます。

**質疑** 恵美之江線改良工事の現在の進捗率と完成年度について。

**答弁** 令和5年度の進捗率は76割で令和8年度を完了目標にしています。

**企画課** 重点施策については、1点目、移住・定住促進。2点目、観光振興。3点目、商工業等の振興。4点目、観光物産館の運営です。

**質疑** 種子島観光協会の負担金増額について。

**答弁** 人件費高騰に伴うもので、これまで非常に安い人件費であったり、職員が1名辞めた経緯から、増額の要請があり対応したものです。

**福祉事務所** 地域福祉推進を目的とした各種団体への補助事業や高齢者福祉・障害者福祉・母子福祉等、各種福祉事業の向上に努めます。

**質疑** 就労移行支援で、実際に就労復帰された方は、

**答弁** 3、4年の間では、1名もいません。

**くらし保健課** 町民の健康増進を図るため、各種がん検診の受診勧奨を進め、健康寿命を延伸するため、介護予防・健康づくりの取り組みを推進する。また、省エネ家電製品購入促進事業による温室効果ガスの削減を推進します。

**質疑** 後期高齢者の1人当たりの医療費について。

**答弁** 令和4年度で93万6,814円となっています。

**あおぞら保育園** 多様化する保育ニーズに応え、子ども豊かな育ちに質するため職員研修の充実を図り、保育の専門性を高め自己研鑽に努めていきます。

**質疑** なし。

## 農業委員会

農地利用の最適化を推進するため、担い手への農地の集積・集約化や遊休農地の発生防止・解消・新規参入の促進を柱に取り組みます。

**質疑** 新規就農者育成総合対策事業で、就農期間の縛りはあるか。

**質疑** なし。

## 水道課

水道事業は、人口減少による収益の減少、老朽化した施設の大量更新など多くの課題を抱えており、中長期的な視野に基づき計画的な経営に取り組み、徹底した効率化、健全経営に取り組み。

以上で質疑を終わり、討論なく採決の結果、全会一致で原案の通り可決しました。

## 執行当局への申し入れ

1 省エネ家電製品購入事業については、公平性を保ちながら継続事業として取り組みむこと。

2 キャトルセンター・堆肥センター運営については、農業振興上欠かせない施設であることから、議会も一緒に運営改善に向けた取り組み体制を図ること。

**総合農政課** 町民が希望を持てる農林水産業の振興を図るため、JA等関係機関・団体と連携して、担い手や新規就農者の確保・育成のため、経営拡大への支援や資金面の支援・サポート体制の充実等



# 論

# 点

## 第1回臨時会

令和5年度一般会計補  
正予算(第9号)

### 主な内容

能登半島地震に伴う災害  
義援金500万円。  
児童福祉費として物価高  
騰支援助付金事業3,06  
9万7千円。

清掃費の省エネ家電製品購  
入促進補助金800万円な  
ど。

**質疑** 清掃費の省エネ家  
電製品購入促進補助金交付  
金の要綱を提示していただき  
たい。

**答弁** 要綱は後もって配布  
します。前回はどこまで要望  
がでるのかな、ということで  
したが、すごい勢いですぐに  
閉めざるを得なかったです。  
今回は国からの配分に対して  
執行残的なものが出てきてい  
ますので、事業執行した方が

良いとのこと、期間はあり  
ませんが提案したところで  
す。

## 第1回定例会

# 予 算

令和6年度一般会計及び  
3特別会計と水道事業  
会計予算

3月7日と8日に、2つの  
常任委員会で審査され、3  
月19日の本会議で原案通り可  
決されました。

予算内容については町広報  
紙でお知らせの通りです。

また、審査内容については、  
各委員会の報告欄を参照して  
ください。

令和5年度一般会計補正  
予算(第10号)

各事業の確定、執行残及  
び実績見込みによるもので、  
予算の総額から歳入歳出それ  
ぞれ3,448万9千円を

追加し、予算の総額を70億  
2,953万3千円とする  
ものです。

### 主な内容

年度内執行が見込めない繰  
越明許費、追加21件・変更  
2件。

扶助費の減額2,018  
万円、生活保護費減額1,  
243万円、新型コロナウイ  
ルスワクチン接種委託の減額  
1,629万円、一般廃棄  
物処理施設補修工事の増額  
4,949万円、荃南小校  
舎建設実施設計業務委託の  
追加2,642万円、自然  
の家及び屋内運動場の工費  
追加3,836万円、令和  
5年度再編交付金の残額4,  
240万円の積立など。

**質疑** 一般廃棄物処理施  
設工事の内訳を説明願いま  
す。

**答弁** 4件ありまして、  
処理施設補修工事2,71  
1万円、シャッター工事34  
9万円、トランス更新工事5  
83万円、水処理施設補修  
工事1,364万円です。

**質疑** 荃南小の設計計画・  
建設地を教えてください。

**答弁** 5年で調査を終え  
て、それから実施設計に入り  
ます。その後7年度中に発注  
し、7年8年で校舎を建設  
して、8年の2学期に移設の  
計画です。建設地については、  
地質の関係もあり、基礎調査  
が終わらないと実施設計に入  
りません。

# 条 例

南種子町企業立地促進  
条例制定について

### 提案理由

本町における企業の立地を  
促進し、産業の振興と雇用  
機会の拡大を図るため条例制  
定するものです。

**質疑** 企業立地の用地幹  
旋については、どういう対応  
になりますか。

**答弁** 民有地を希望され  
ることもあるでしょうし、ま  
た町有地を活用できるところ

があれば紹介しながら、最  
初からこの土地にというこ  
とを規定しているわけではあ  
りません。

南種子町重度心身障害者  
医療費助成条例の一部を  
改正する条例制定

### 提案理由

鹿児島県の制度変更に伴  
い、支給方式を償還払いから  
自動償還払い方式に変更する  
ものです。

**質疑** 対象者への啓発・  
普及について周知徹底してい  
ただきたい。

**答弁** 対象者については、  
受給資格者証等を新たに送  
付することもあるかと思いま  
すので、その時に説明の文書  
等も一緒に入れて周知を図り  
ます。

その他、国の基準改正に伴  
う条例の一部改正案が10件提  
出され、審議の結果原案どお  
り可決しました。

# 委員長報告・陳情審査

(総務文教委員会)

委員長 大崎 照男  
副委員長 平島 強

委員 塩釜 俊朗  
委員 上園 和信  
委員 柳田 博

令和6年第1回定例会において、総務文教委員会に付託された、陳情第1号、「川内原発20年延長に関する陳情書について、審査の経過と結果について報告いたします。

当委員会は、令和6年3月11日午前9時より、第1委員会室において、全委員出席のもと、付託を受けた陳情第1号の審査方法等について協議を行い、当日、提出者からの趣旨説明を受けた。

陳情の趣旨は、原発事故の脅威が、あらためて能登半島地震で明らかになり、川内原発の基準地震度6弱以上が起きない完全な保証がない限り、川内原発の20年運転延長に反対する決議を上げ、以上

の決議に基づき、鹿児島県、薩摩川内市、九州電力、原子力規制委員会へ、20年延長に関する各種決定の白紙撤回を求めます。という趣旨説明です。

質疑なく、その後、委員会で、川内原発から遠く離れた本町が運転反対の意見書を決議するのはどうか、国策でもあり、現状のライフラインから考えた時に、国・県・地元周辺の自治体が容認していることから、白紙撤回は困難と判断する意見などもあり、当委員会に付託された陳情第1号は「不採択」と決定しました。

## ホームページの閲覧について

左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると南種子町議会の議会だより(平成27年3月発行分以降)と定例会の会議録(平成27年第2回定例会分以降)の閲覧ができます。是非ご活用ください。

## 議会だより



## 会議録



## 編集後記

現公立種子島病院は、平成16(2004)年4月1日に診療開始して、本年度で20年となります。

自治体病院として、必要な医療のうち不採算等の面から、民間医療機関による提供が困難な医療を行うことで、種子島南部医療圏の中核病院として、地域住民が安心して暮らすことができるよう、地域医療を担う位置づけにあります。

令和6年度診療科目は、内科、外科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、整形外科、精神科、リハビリテーション科、(人工透析)があり、病床数は60床、感染症病床2床となっております。診療態勢は、常勤医師2名、非常勤医師13名となっております。

令和5年度の一日平均外来患者は133・82名、入院患者は34・60名、医師の常勤換算数5.9名、医療法に基づき医師の必要数は5.1名となっております。

おり、医師配置基準は満たされているとのこと。

常勤医師・非常勤医師15名体制で毎日の外来診療、入院患者の処置、救急患者受入に当たっており、ご多忙な中、離島・へき地で暮らす我々の健康を支え、住民の健康増進、地域医療の充実・向上に病院長を中心に医師・スタッフ一同、一生懸命取り組んでいる姿をお見受けするところです。

公立病院は、医療収入の外、南種子町(212,000千円)・中種子町(62,770千円)の負担金で運営されています。(金額は令和6年度当初予算額)。

地域住民から多くの声が寄せられることから、公立病院運営状況について、取り上げました。

議会に対し、ご意見ご要望等お寄せください。

議会広報編集委員会  
(文責) 上園 和信